

# 京城日報

刊夕日七廿  
發行所 東京市日本橋區本町二丁目  
電話 二二二二  
印刷所 東京市日本橋區本町二丁目  
電話 二二二二

## 遺露宮御旅程決定

朝鮮御通過期  
九月十一日午前八時三十分東京車站(途中東京御停留)  
十三日午前九時三十分下關御停留午後九時四十分釜山御停留  
十五日午前九時三十分大邱御停留午後九時四十分大邱御停留  
十七日午前九時三十分大邱御停留午後九時四十分大邱御停留  
十九日午前九時三十分大邱御停留午後九時四十分大邱御停留  
二十一日午前九時三十分大邱御停留午後九時四十分大邱御停留

## 支那内閣承認と借款

唐紹儀氏外交總長就任承認  
員承認案無事通過可也  
支那の内閣承認は、二十一日の支那政府に提出せられた。唐紹儀氏外交總長就任承認、員承認案無事通過可也。支那の内閣承認は、二十一日の支那政府に提出せられた。唐紹儀氏外交總長就任承認、員承認案無事通過可也。

## 段總理の辭意撤回

段總理の辭意撤回  
段總理の辭意撤回は、二十一日の支那政府に提出せられた。段總理の辭意撤回は、二十一日の支那政府に提出せられた。段總理の辭意撤回は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 龍濟光竟に去らん

龍濟光竟に去らん  
龍濟光竟に去らんは、二十一日の支那政府に提出せられた。龍濟光竟に去らんは、二十一日の支那政府に提出せられた。龍濟光竟に去らんは、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 證券動員と日本公債

證券動員と日本公債  
證券動員と日本公債は、二十一日の支那政府に提出せられた。證券動員と日本公債は、二十一日の支那政府に提出せられた。證券動員と日本公債は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 英佛經濟協約締結

英佛經濟協約締結  
英佛經濟協約締結は、二十一日の支那政府に提出せられた。英佛經濟協約締結は、二十一日の支那政府に提出せられた。英佛經濟協約締結は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 獨逸鐵製飛船の建造

獨逸鐵製飛船の建造  
獨逸鐵製飛船の建造は、二十一日の支那政府に提出せられた。獨逸鐵製飛船の建造は、二十一日の支那政府に提出せられた。獨逸鐵製飛船の建造は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 埃匈の形勢稍回復

埃匈の形勢稍回復  
埃匈の形勢稍回復は、二十一日の支那政府に提出せられた。埃匈の形勢稍回復は、二十一日の支那政府に提出せられた。埃匈の形勢稍回復は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 埃匈再び軋轢の兆

埃匈再び軋轢の兆  
埃匈再び軋轢の兆は、二十一日の支那政府に提出せられた。埃匈再び軋轢の兆は、二十一日の支那政府に提出せられた。埃匈再び軋轢の兆は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 勃軍希軍の守地を攻撃す

勃軍希軍の守地を攻撃す  
勃軍希軍の守地を攻撃すは、二十一日の支那政府に提出せられた。勃軍希軍の守地を攻撃すは、二十一日の支那政府に提出せられた。勃軍希軍の守地を攻撃すは、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 聯合軍サロニカに優勢

聯合軍サロニカに優勢  
聯合軍サロニカに優勢は、二十一日の支那政府に提出せられた。聯合軍サロニカに優勢は、二十一日の支那政府に提出せられた。聯合軍サロニカに優勢は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 高加索軍各處に勝つ

高加索軍各處に勝つ  
高加索軍各處に勝つは、二十一日の支那政府に提出せられた。高加索軍各處に勝つは、二十一日の支那政府に提出せられた。高加索軍各處に勝つは、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 蒙軍の運命囊鼠釜に等し

蒙軍の運命囊鼠釜に等し  
蒙軍の運命囊鼠釜に等しは、二十一日の支那政府に提出せられた。蒙軍の運命囊鼠釜に等しは、二十一日の支那政府に提出せられた。蒙軍の運命囊鼠釜に等しは、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 吉林と蒙軍撃撲

吉林と蒙軍撃撲  
吉林と蒙軍撃撲は、二十一日の支那政府に提出せられた。吉林と蒙軍撃撲は、二十一日の支那政府に提出せられた。吉林と蒙軍撃撲は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 萬金の掌珠

萬金の掌珠  
萬金の掌珠は、二十一日の支那政府に提出せられた。萬金の掌珠は、二十一日の支那政府に提出せられた。萬金の掌珠は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 蒙古平治建議

蒙古平治建議  
蒙古平治建議は、二十一日の支那政府に提出せられた。蒙古平治建議は、二十一日の支那政府に提出せられた。蒙古平治建議は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 鋼鐵王出發

鋼鐵王出發  
鋼鐵王出發は、二十一日の支那政府に提出せられた。鋼鐵王出發は、二十一日の支那政府に提出せられた。鋼鐵王出發は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 和川三便船

和川三便船  
和川三便船は、二十一日の支那政府に提出せられた。和川三便船は、二十一日の支那政府に提出せられた。和川三便船は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 仁川三便船

仁川三便船  
仁川三便船は、二十一日の支那政府に提出せられた。仁川三便船は、二十一日の支那政府に提出せられた。仁川三便船は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 田大

田大  
田大は、二十一日の支那政府に提出せられた。田大は、二十一日の支那政府に提出せられた。田大は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 山群

山群  
山群は、二十一日の支那政府に提出せられた。山群は、二十一日の支那政府に提出せられた。山群は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 山釜

山釜  
山釜は、二十一日の支那政府に提出せられた。山釜は、二十一日の支那政府に提出せられた。山釜は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 州公

州公  
州公は、二十一日の支那政府に提出せられた。州公は、二十一日の支那政府に提出せられた。州公は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 邱大

邱大  
邱大は、二十一日の支那政府に提出せられた。邱大は、二十一日の支那政府に提出せられた。邱大は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 八事

八事  
八事は、二十一日の支那政府に提出せられた。八事は、二十一日の支那政府に提出せられた。八事は、二十一日の支那政府に提出せられた。

## 心水

心水  
心水は、二十一日の支那政府に提出せられた。心水は、二十一日の支那政府に提出せられた。心水は、二十一日の支那政府に提出せられた。



### 一死を辭せず 蒙古軍の

草薙を以て敵の群中に飛び込む  
一死を辭せず 蒙古軍の  
草薙を以て敵の群中に飛び込む  
一死を辭せず 蒙古軍の  
草薙を以て敵の群中に飛び込む

### 貴州通敵を 受けながら

貴州通敵を 受けながら  
貴州通敵を 受けながら  
貴州通敵を 受けながら  
貴州通敵を 受けながら

### 平壤聯隊の渡河演習

平壤聯隊の渡河演習  
平壤聯隊の渡河演習  
平壤聯隊の渡河演習  
平壤聯隊の渡河演習

### 流弾天幕中の歩哨を射る

流弾天幕中の歩哨を射る  
流弾天幕中の歩哨を射る  
流弾天幕中の歩哨を射る  
流弾天幕中の歩哨を射る

### 先づフイルムに入る龍頭山

先づフイルムに入る龍頭山  
先づフイルムに入る龍頭山  
先づフイルムに入る龍頭山  
先づフイルムに入る龍頭山

### 賣卜者の放火

賣卜者の放火  
賣卜者の放火  
賣卜者の放火  
賣卜者の放火

### 書齋は 留守勝の家を覗いて

書齋は 留守勝の家を覗いて  
書齋は 留守勝の家を覗いて  
書齋は 留守勝の家を覗いて  
書齋は 留守勝の家を覗いて

### 留守居 我々を誘う

留守居 我々を誘う  
留守居 我々を誘う  
留守居 我々を誘う  
留守居 我々を誘う

### 其罪は 泥棒と折半して

其罪は 泥棒と折半して  
其罪は 泥棒と折半して  
其罪は 泥棒と折半して  
其罪は 泥棒と折半して

### 二人組の大賊 控訴棄却となる

二人組の大賊 控訴棄却となる  
二人組の大賊 控訴棄却となる  
二人組の大賊 控訴棄却となる  
二人組の大賊 控訴棄却となる

### 巴布札布將軍萬歲!

巴布札布將軍萬歲!  
巴布札布將軍萬歲!  
巴布札布將軍萬歲!  
巴布札布將軍萬歲!



大同江の渡河演習

八百里突の大同江を横切つて  
平壤聯隊の渡河演習  
八百里突の大同江を横切つて  
平壤聯隊の渡河演習

河中に飛込み  
死の兵卒を救ふ  
河中に飛込み  
死の兵卒を救ふ

漁船帆船検査  
山崎の防衛につては、連絡船  
漁船帆船検査  
山崎の防衛につては、連絡船

建築用材一切 (内、地産)  
土木建築請負  
農業世界増刊  
魚貝類漁殖利用法

從卒自殺  
拳銃で咽喉から  
從卒自殺  
拳銃で咽喉から

留守勝の家を覗いて  
留守居 我々を誘う  
留守勝の家を覗いて  
留守居 我々を誘う

貯蓄預金 元金百圓二付日歩壹錢三厘金  
株式會社長崎貯蓄銀行代理店  
同 龍山出張所

巴布札布將軍萬歲!  
巴布札布將軍萬歲!  
巴布札布將軍萬歲!  
巴布札布將軍萬歲!

二人組の大賊 控訴棄却となる  
二人組の大賊 控訴棄却となる  
二人組の大賊 控訴棄却となる  
二人組の大賊 控訴棄却となる

大塚製造所吟製  
前田酒店  
電話一三七五



色治園真珠株式會社南洋一手代理店  
 カシノ二五二番(階上) 函掛一代理店  
 電話二八五二番(階上)  
 電話二六三七(階下) 黃金館  
 昭和二十四年四月特別大興行  
 新派大戲劇「松葉時雨」全三卷 大井五

[illegible][illegible]

海 武 門 卯 戌 亥

[illegible]

**京城壽町**

電話五七八番  
**壽座**

留派和合俱樂部一行  
月二十六日五日目狂言  
川春兵作

**藝題** 生さぬ仲後進

役者 諸右衛門、院長山田、伊井氏家  
流石 落雁齋、有守山郎友八、渡邊三矢野全妹  
佐藤川上二母阿代、大知三子、小宮百重

[illegible]

新派大非常立花一流出  
 千美身に我を寄世の  
 33年打て華に零世  
 千美身に我を寄世の  
 33年打て華に零世

夫は、  
 大野屋利兵衛  
 今、  
 三巻身  
 上、  
 土國第五郎

大正六年朝鮮民曆發賣人募集  
出願期限十月廿日迄  
發賣人へ賣下月迄  
八許可數出願手續等八月廿六日  
正告參照府郡廳ニテ承合ス

八月廿六日 朝餉總督  
 物品拂下 九月十二日京城  
 開出張所ニ於テ  
 門前揭示又ハ總督  
 仁川稅關  
 自報廣告ヲ見ヨ

奇術界のクイーン  
天勝嬢一座

八月廿七日三日間  
平壤廿九日櫻座  
興業主任  
山本貞次郎

酒清双

品質無双

造吟社會

ルービンリキ  
萬甲龜・油鯨  
種各一ダイサリ

元賣  
店支城  
伊士

歸す、既に正月元日前御代假  
 食内藤正殿を許取り、罪を朝廷に得  
 たる連年の巨魁、偕四郎時良を救け  
 ば天下の政道、尤々こののみか、ひ  
 々天下に運兵人は絶へますまい左は  
 守少し憂心をじて居るやうだが、  
 勝、此度の軍師でありまし、  
 戦、この度、伊豆守を囚へたと違つて、近頃

八月廿七日  
 廿八日  
 廿九日  
 三日間  
 平壤  
 櫻座  
 興業主任  
 山本貞次郎



[illegible]

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

# mitsuwa cod-liver oil drops.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 in a bottle ... ￥ 1.20  
 MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 drops in a bottle ... ￥ 1.20

Mitsuiwa Cod-Liver Oil Drops are round-randy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without tasing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuiwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations in the market. Mitsuiwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are En-plement with albumen, and a further addition of the effective element of iron, lime and phosphorus quinine.

## 料壯強養滋

肝油ドロップス  
 複方肝油ドロップス

肝油含量一ノグラムにして、  
 肝油の含量を半減して、有機鐵、有機磷及び石灰、  
 規那糖を含有せしむ

(圖々品現)

如斯人は滋養料の複方肝油ドロップスを用ふべし  
 骨の軟弱即ち拘攣病骨軟化  
 其の他種々の骨病ある人  
 營養不良から來れる眼病  
 一、夜盲症や網膜貧血に罹れる人  
 一、眼病(熱等)に罹れる小兒  
 一、發育不全の小兒  
 一、貧血症に罹れる人  
 一、肺結核其他肺病に罹れる人  
 一、精神衰弱、ヒポコンデリア、ヒステリーなどの病に罹れる人  
 一、陰痿、遺精などの生殖器官に罹れる人  
 一、心臓病に罹れる人  
 一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去り  
 河合龜太郎氏創製

# 肝油ドロップス

肝油含量一ノグラム	
一日二粒乃至三粒服用	
五歳以下	一日二粒
十歳以下	一日三粒
十歳以上	一日四粒
大人	一日五粒
大	一日六粒
人	一日七粒
大	一日八粒
人	一日九粒
大	一日十粒
人	一日十一粒
大	一日十二粒
人	一日十三粒
大	一日十四粒
人	一日十五粒
大	一日十六粒
人	一日十七粒
大	一日十八粒
人	一日十九粒
大	一日二十粒
人	一日二十一粒
大	一日二十二粒
人	一日二十三粒
大	一日二十四粒
人	一日二十五粒
大	一日二十六粒
人	一日二十七粒
大	一日二十八粒
人	一日二十九粒
大	一日三十粒
人	一日三十一粒
大	一日三十二粒
人	一日三十三粒
大	一日三十四粒
人	一日三十五粒
大	一日三十六粒
人	一日三十七粒
大	一日三十八粒
人	一日三十九粒
大	一日四十粒
人	一日四十一粒
大	一日四十二粒
人	一日四十三粒
大	一日四十四粒
人	一日四十五粒
大	一日四十六粒
人	一日四十七粒
大	一日四十八粒
人	一日四十九粒
大	一日五十粒
人	一日五十一粒
大	一日五十二粒
人	一日五十三粒
大	一日五十四粒
人	一日五十五粒
大	一日五十六粒
人	一日五十七粒
大	一日五十八粒
人	一日五十九粒
大	一日六十粒
人	一日六十一粒
大	一日六十二粒
人	一日六十三粒
大	一日六十四粒
人	一日六十五粒
大	一日六十六粒
人	一日六十七粒
大	一日六十八粒
人	一日六十九粒
大	一日七十粒
人	一日七十一粒
大	一日七十二粒
人	一日七十三粒
大	一日七十四粒
人	一日七十五粒
大	一日七十六粒
人	一日七十七粒
大	一日七十八粒
人	一日七十九粒
大	一日八十粒
人	一日八十一粒
大	一日八十二粒
人	一日八十三粒
大	一日八十四粒
人	一日八十五粒
大	一日八十六粒
人	一日八十七粒
大	一日八十八粒
人	一日八十九粒
大	一日九十粒
人	一日九十一粒
大	一日九十二粒
人	一日九十三粒
大	一日九十四粒
人	一日九十五粒
大	一日九十六粒
人	一日九十七粒
大	一日九十八粒
人	一日九十九粒
大	一日一百粒
人	一日一百零一粒
大	一日一百零二粒
人	一日一百零三粒
大	一日一百零四粒
人	一日一百零五粒
大	一日一百零六粒
人	一日一百零七粒
大	一日一百零八粒
人	一日一百零九粒
大	一日一百一十粒
人	一日一百一十一粒
大	一日一百一十二粒
人	一日一百一十三粒
大	一日一百一十四粒
人	一日一百一十五粒
大	一日一百一十六粒
人	一日一百一十七粒
大	一日一百一十八粒
人	一日一百一十九粒
大	一日一百二十粒
人	一日一百二十一粒
大	一日一百二十二粒
人	一日一百二十三粒
大	一日一百二十四粒
人	一日一百二十五粒
大	一日一百二十六粒
人	一日一百二十七粒
大	一日一百二十八粒
人	一日一百二十九粒
大	一日一百三十粒
人	一日一百三十一粒
大	一日一百三十二粒
人	一日一百三十三粒
大	一日一百三十四粒
人	一日一百三十五粒
大	一日一百三十六粒
人	一日一百三十七粒
大	一日一百三十八粒
人	一日一百三十九粒
大	一日一百四十粒
人	一日一百四



之を察し、に驚嘆する事は出来ぬ。兎  
 年、三十歳には相なるに相當資本が要  
 る。此等麻は相なるに相當資本が要  
 る。三十歳には一反分二要するが、  
 三年目から本當の收穫がある。

今名ある吉博士などは朝鮮の鐵道は京義線は良いが京義線は疑定や食料車の設備もなくそれほど民衆が不便を例証して居るが彼れは博士の鐵方が間違て居る京義線の設備と云つてそんな粗末なものではない何云てか穿き違ひであらう朝鮮の韓鐵機道は京義京義線を通じて民衆に比すれば實淨な位であつたこれは比に當る事ではあらうが併し朝鮮鐵道の性質當然の爲であつて國策通考たる價値を以て見ても鐵道が便利だといふ事は甚だ顯着であるらしい目下京義に來て居る米國鋼鐵王ギヤリー氏の如き者の發達家でも鐵道には不平はなさうである。

鮮を見物する者が除積泊して來た彼等にとつて鐵道の鐵道が便利だといふ事は甚だ顯着であるらしい目下京義に來て居る米國鋼鐵王ギヤリー氏の如き者の發達家でも鐵道には不平はなさうである。

パイカイ問題(三)

法律上の解釋

東亞協會 廣田七郎會

勅令第七十四號第三條は株式取引所に於ける定期買取方法に關し二種買取(一)單位買取(二)買取(三)契約期限内に於て轉

街に鳴けるが悲し  
 洋の音れにも似たる鐘一丁燈  
 網の野につらなりて秋聊のこ  
 糸のつらなりて秋聊のこ  
 吹く初秋の風  
 三日月（龍山）  
 なる心の建てし此の砂塔さの  
 きなく今崩れんとす  
 衆の心模様如初あつる白き  
 も命さげむとする  
 心に懐しいさかのの  
 鐘後の部屋に笛よ  
 来るる告る如青

# 報 画

理想の候補者  
のお國自慢  
子供の心を知れ  
音樂  
秋の料理  
長編小説  
お夏文代  
金澤市  
東京

波 郎 子 山 著 子 齋 作

優等清酒



內科小兒科 入院

多  
令  
見  
醫

電話

本莊酒  
發賣元  
京永樂  
二町目

本莊酒

院

日韓書房  
新報版  
平島春壽 井村崎樹 村上二郎 田花袋

[illegible]

**家庭**

**婦人之人友**

●**經驗**は我々等が活殺す主筆羽仁  
●**何でも食へ習慣を養へ**長井博士比較  
●**味噌汁と牛乳の奥田學士較**  
●**最新式の魚の食べ方**駒田吉和  
●**安て滋養に於食事献立**

我が家の**自慢料理**

計四共税郵年中 五錢一稅舞錢廿

婦人画報

**食物號**

**九月號出來**

△和風、洋風、折衷、すべて五十餘種  
 何たら良い鶏卵が食べられ  
 罐詰の善惡と鑑定法  
 何たら御飯が長持ちする  
 お惣菜の廢物活用方法

毎號 連載

**家事寫眞**

(一)お米のどき方から御飯の出来る迄  
 (二)即席漬け物の手順多々實物と説明  
 (三)御馳走を引立調和田中  
 食卓を飾る新式盛花宗茂  
 長篇小説朝の歌(くま)佐藤紅緑

電話九四〇番

京東醫藥 谷ヶ司雜貨

**家庭**

**婦人之人友**

●**經驗**は我々等が活殺す主筆羽仁  
●**何でも食へ習慣を養へ**長井博士比較  
●**味噌汁と牛乳の奥田學士較**  
●**最新式の魚の食べ方**駒田吉和  
●**安て滋養に於食事献立**

我が家の**自慢料理**

計四共税郵年中 五錢一稅舞錢廿

內科  
小兒科

京城日出小學校前  
多々見

入院隨意

醫醫院

電話九四〇番

**食物號**

九月號出來

△和風、洋風、折衷、すべて五十餘種  
何なる良い鶏卵が食べられ  
罐詰の善惡其鑑定法  
●何う御飯が長持ちする  
●お惣菜の残物活用方法

毎號  
連載

**家事寫眞**

(一)お米のごき方から御飯の出来る迄  
(二)即席漬け物の手順から實物説明  
**御馳走を引き立調和芳田中**  
**食卓を飾新式盛花都筑子**

長篇小説  
朝の歌  
佐藤紅綠

東京雜貨店 谷口維京  
東京雜貨店 谷口維京  
東京雜貨店 谷口維京

**新報版告**

不并著 晚村著 島崎著 春園著 興村著 齊部著 有美著 花山著	俠客忠治 藤村文集 子方 學 情 野	定価七十五 銀錢十五 定価六十五 銀錢八 定価五十 銀錢八 定価七十 銀錢八 定価五十 銀錢八
--	-----------------------------------	--

**京師市町二丁目**

高軒 一橋 五口 一庫 五

# 淑女画報

**婦人隊の富士登山**

▲北白川宮家の御榮や  
▲高麗の夏と福岡氏の分帳  
▲ランチョンの後の名流十人  
**講義 嵯峨公商家の舟あそび**  
▲珍奇なる花嫁がた  
▲湘南に於ける閑情文星  
**報名家の夫人令嬢數十員**  
▲活動衣實装束並（第一回）  
▲無言寫眞一樹邸の風俗など  
**避暑地真行脚**（新小説）

**讀話 煩悶の自滅**（井上博七）  
▲其鳴呼ぶ聲聞く  
▲坪倉節方、原野香際  
**讀 令嬢の危難小説**（坪谷水哉）  
▲柳子娘の島婦人風俗  
▲求職婦人の失敗の告白  
**物 蒙前の涙**（雪路樓）  
▲二度三度六次機嫌へ  
▲女中と仕込む秘訣  
**親・因果が子上に報**（吉田士郎）  
▲小娘より池ノ家までトシ一風栗葉

九月月號 定價洋銀四角 郵費二錢二分

**婦人画報**

畫報(四十二頁の中)

○白芙蓉(原色版) ○小はざ  
御遊覧久邇宮二姫宮殿下  
○山龍の召東久邇宮妃殿下  
登弓殿下  
○島津兩家合謀 ○中將令燈  
公爵令三事田歌子女史令燈  
石法相合嫁輕井澤名士庭の家  
尾外相令夫人北條避暑名家  
石井外令奧様令嬢如花  
○夫婦令嬢如し  
婦人の南方展新渡戸博士  
子供齒生へる頃豊福博士  
理想の候補者殿谷小波  
私のお國心慢ベイテイ  
子供のお心を知れ高島半三郎  
醜行自慢の世の中に矢島桐子  
○音樂に對三條公卿參内てろ子  
す一小原節夫夫人迄出てろ子  
通徒久野久子山路愛山  
日本及び日本の女性婦人記者  
初秋の料理吉村里子  
小説お夏代菊池幽芳作  
長崎金谷隆一氏武蔵五洲  
東京橋本治橋外  
九月號  
東京社  
東京四月九日番

**家庭**

婦人之人友

經驗は我々を  
等々活殺す主筆羽仁

●何でも食へ習慣を養へ長井

●味噌汁と牛乳の奥田學士比較

●最新式の魚の食べ方駒田吉和

●安て滋養になる食事献立

我が家の**自慢料理**

計五錢一税舞錢廿四  
年申郵共一計

朝鮮語會話  
 定價 八金 拾八錢  
 八錢 六錢  
 驗者必携の資料 ● 袖珍總クロース四百頁頗美本  
 湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版  
 萬部を賣盡して尙要求盛なるに付改訂大増補  
 行ひ三版を發賣するに至れり朝鮮語の智識は  
 書に説き盡して餘蘊なし特に受験者に採りて  
 最も親切なる解説者たり是非共一本を机上に  
 へられよ  
 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部  
 振寄東京三丁目 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局書肆  
 取次 大坂屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局書肆  
 診察 夜九時迄  
 京成本町一丁目  
 石川醫院  
 電話 二七三九番  
 電話 二七三九番  
 胃腸病科  
 胃腸病科  
 胃腸病科

內科  
小兒科

京城日出小學校前  
多々見

入院隨意

醫醫院

電話九四〇番

**食物號**

九月號出來

△和風、洋風、折衷、すべて五十餘種  
何なる良い鶏卵が食べられ  
罐詰の善惡其鑑定法  
●何う御飯が長持ちする  
●お惣菜の残物活用方法

毎號  
連載

**家事寫眞**

(一)お米のごき方から御飯の出来る迄  
(二)即席漬け物の手順から實物説明  
**御馳走を引き立調和芳田中**  
**食卓を飾新式盛花都筑子**

長篇小説  
朝の歌  
佐藤紅綠

東京雜貨店  
谷口維京  
東京  
監督  
一六〇  
婦人友人社



來りて海岸に松樹を栽植せり、然  
ども烈風吹き荒む毎に之を埋没し

笏洞二十餘萬箇、楠亭十七萬餘箇あり  
 現在に於ける楠亭の機械は未だ試験  
 たるものと稱すべく、逮安金鑽の

四五十年の生命を有する東洋有數の大邱明石に於て定期總會を開く者三十七名委任狀依敷八十八計

戦争はこれです。事が足つたからね。威  
無量の姿であつた。

京城日報代印  
電話に六六〇番  
振替貯金口座東京

京城日報代理店  
 電話長六六〇番三三六  
 振替貯金口座京城三〇〇  
 本店 京城本町二丁目電話

音 三六〇〇  
本店 京城本町二丁目電話九七二番

卷之二十一



▽ギアリー氏大に朝鮮に就て語る

擴子の方

西家より二荒伯雷家に御

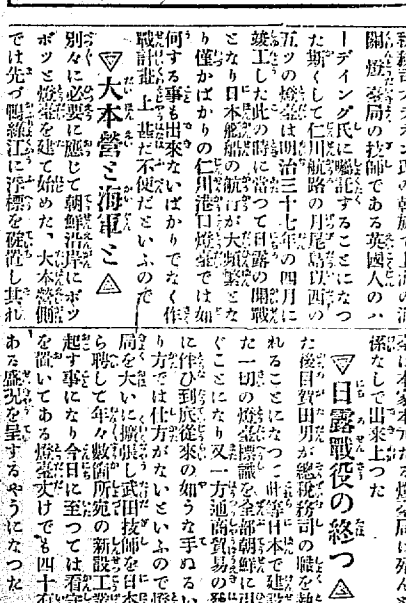
て  
閉とぢ  
籠こり  
銅銅鐵鐵

來 らんい

ければならない

二六

單なる理由の下に



1

10

ヨンと馬追虫が眞珠の

口と成るであらうが、

下萬民に於て、以後

つて居つたので所の道から

したが石橋技師は中途で

關燈臺局の技師である

▽大本營と海軍

五十七

名を二十五日午後零時

ン等の藥品密賣を専門

ろ

で  
4  
と傍うに野人

前のヘルマン爺さん始め如何

○上陸すると狭い街には京城

咸南永興郡順金面龍川

に幾分の金廻りよきを

るを不服とし京城覆審

通一國前金  
三十番外  
六十銀  
五

△△△御製  
本町

九商品陳列館通坂中途

番外

平壤南門町製菓卸商井上

員入用年四十五六歳

西師  
名急招

初心者

人用輸送車新著仕


明治町 柔術

[illegible]



[illegible]

町田野國總下  
造釀門衛右郎七木茂  
店約特  
目丁一町治明  
店商野收  
番三五二話電



損の中年ける誤を擇撰の油醬  
油醬クハキ品絶の一唯東關へ給み試  
石千二萬六額年りた冠に國全高造釀  
りけ基に力買購の大最は高造釀の大最  
證實の越優質品は力買購の大最

酒清等優

釀子港 田中玄蕃 釀造

代理店  
發賣元  
山邑京城支店

京城明治町一丁目


田中玄蕃油

福岡縣三井郡山川村  
祇造元 富安本店

京城永樂町二丁目  
發賣元 富安京城支店

電話一〇三九番  
候館口庄四三九番

電話八四九番  
國藥貯金庫城七五番

  
 株式會社  
**第一銀行**  
 東京  
 支店  
 頭取 佐々木勇之助


資本金 貳千五百拾萬圓  
 積立金 九百六拾五萬圓  
 京城市二丁目(振替貯金京城一二番)

銀行一般業務に確實を旨とし精々御便利に取扱申候  
 内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

八面玲瓏  
いつ見ても  
飽かぬは富士  
萬人向き  
いつ食べても  
美味しい菓子  
は

森ミルク  
キヤラメル

ホケフト用 大寸 5粒  
小寸 5粒



消化と

毒けし

仁丹

仁丹もつゝ  
夏しつゝ

[illegible][illegible][illegible][illegible]